

# 羅針盤

2013年度 第19号  
都立豊多摩高等学校  
進路図書部  
2014.3.12



大学入試センター試験リスニングで使用する音声機器（ICプレーヤー、イヤホン等）を、平成27年度大学入試センター試験（平成27年1月実施）から更新する旨、大学入試センターから発表されました。とは言っても、たいした変更ではないので心配は要りません。一応参考までに概要を記します。

・主な変更点

- 1 確認・再生ボタンの誤操作防止スライドカバーを設置（受験者の誤操作防止対策）
- 2 音声メモリー挿入口をICプレーヤーの上部に変更するとともに、挿入口に保護カバーを設置（防塵及び受験者の誤操作防止対策）
- 3 電池を単3アルカリから単4アルカリに変更（軽量化、環境対策）
- 4 イヤホンのリユース化（環境対策）



以上だそうです。2年生の皆さんは、来年度になると校内の実力テストでも実物そっくりのプレーヤーでリスニングをするようになりますから、楽しみにしてください。



冬季オリンピックがあったりしてちょっと忘れかけていましたが、今年はじめの小保方晴子さんのSTAP細胞作製のニュースには、本当に驚かされました。（残念ながらその論文にはだいぶ疑惑があるという報道が増えているようではありますが）特に理系を志している女子のみなさんにとっては、大変刺激(Stimulus)を受けるニュースだったのではないのでしょうか？

最近理系志望の女子を「リケジョ」などと呼ぶようで、雑誌なども出ていますし、理系志望女子はかなり増加傾向です。

2014年2月3日の毎日新聞に、これに関連した面白い記事がありましたので、引用させていただきます。

（以下引用）

◇女性の科学者や理系学生「お手本」少なく数増えず

Q あらゆる細胞になるSTAP細胞の作製を発表した理化学研究所の小保方晴子さんが「リケジョのヒロイン」と紹介されているけど、リケジョって？



A 「理系女子」の略称です。明確な定義はありませんが、科学技術の仕事についている研究者や技術者、大学で自然科学を学ぶ女子学生、さらにこうした進路を目指す女子中高生を「リケジョ」と呼ぶことが多いようです。

Q 小保方さんのような女性科学者ってどのくらいいるの？

A 企業や研究機関で研究を仕事にしている人は全国で約90万人。このうち女性は12万5000人で、全体の14%です。内閣府の集計では、この比率はロシアの42%、米国の34%などより低く、先進国最低レベルです。教授など指導的地位にある女性の割合も低く、安倍政権の目標「2020年までに30%」には遠く及びません。

Q 科学者になるには、大学で理系の勉強をする必要があるよね。

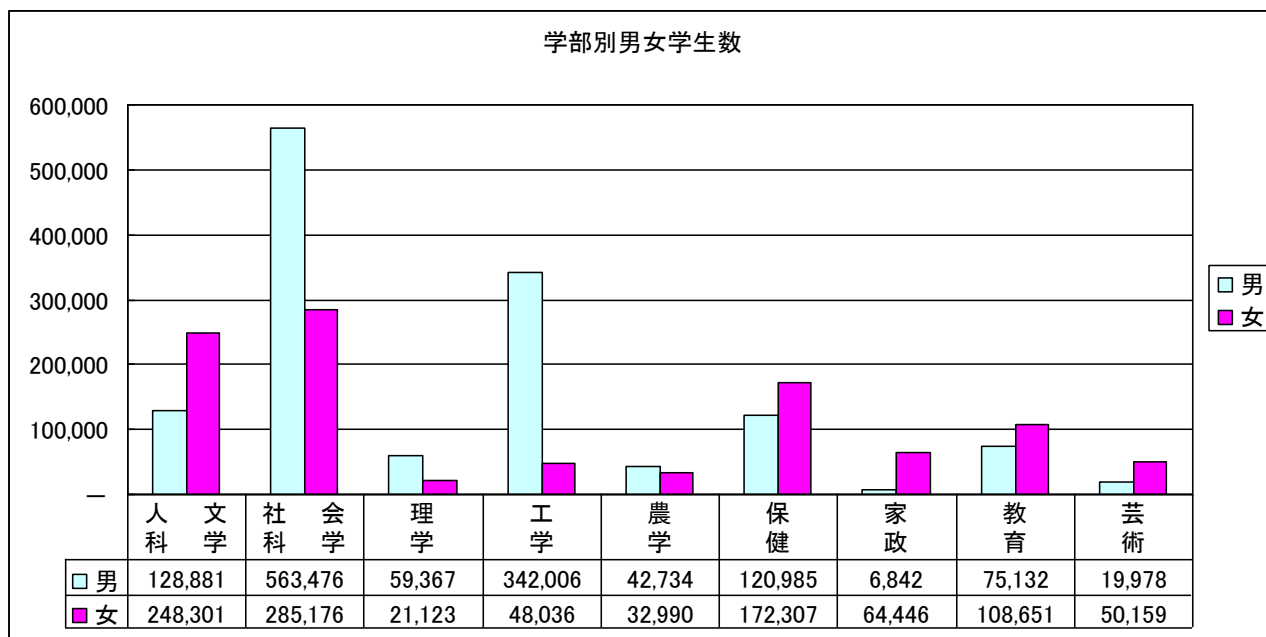
A 最近、「就職に有利」などの理由から、理工系学部を志願する女子は増えていますが、大学院の修士課程、博士課程と進むにつれて、女子比率は減っていきます。博士号は科学者にとって免許証のようなもの。博士課程への進学が増えなければ、科学者も増えません。

Q なぜ増えないの？

A 博士課程に進むと、職業選択の幅が狭まる上に、少数派の世界で科学者としてやっていけるかという不安が大きいようです。社会的自立が遅れ、結婚や出産などが後回しになるのではないかという不安もあります。お手本になる同性の先輩が圧倒的に少ないことも影響しているでしょう。内閣府男女共同参画局は、理系に興味がある女子学生たちが将来の自分をイメージしやすいよう、先輩たちの活躍ぶりや大学の取り組みを紹介するホームページ「理工チャレンジ」を近く開設します。

(引用おわり)

実際に理系の女子学生は少ないのでしょうか？平成25年度に全国の大学に在籍している学生総数について、学部別に男女人数の割合を調べてみました。数値は文部科学省による平成25年度学校基本調査に基づいています。



これを見るとやはり工学・理学分野では女子の比率はかなり小さいですね。しかし、理系好きの女子の皆さん、「周りが行かないから自分も行かない」のではなく、ぜひ「自分が行って仲間を増やしていく」という気概をもって挑戦していこうではありませんか！  
素敵な「リケジョ」を目指してください。 以上